



2019年4月6日～11日 米国ネバダ州ラスベガス・コンベンションセンター(LVCC)にて開催された世界最大規模のメディア、エンターテインメント、テクノロジー総合展示会。

来場者対象業種は情報・通信／通信、情報処理、コンピュータ／新聞、放送、映像（映画、フォト）／サービス／広告、マーケティング、経営管理／機械・工業技術／電気・電子（製品、機器）。また出展対象品目はラジ

オ・テレビ放送、オーディオ／ビデオ、ポスト生産（デジタル編集等）、企業コミュニケーション、フィルム／エンターテインメント、マルチメディア、オンライン／インタラクティブ／テレコミュニケーション機器・サービスなど多岐にわたる。

本号では出展各社からの情報をもとに、現地での出展製品の最新情報をお届けする。

（写真提供：山崎 淳、柳澤 望）

ソニー

「Powering Today, Transforming Tomorrow」をテーマに、マルチフォーマットポータブルカメラ「HDC-5500」や、効率的な映像制作を実現する「IP Live プロダクションシステム」など、次世代放送を見据えた最新製品群およびワークフローを幅広く展示。また、ブース内では8K×4K構成のCrystal LEDディスプレイシステムによる臨場感と没入感のある迫力の映像を体験でき、8Kカメラシステム「UHC-8300」で撮影したモータースポーツ映像（8K/120p/HDR）や、映画制作用CineAltaカメラ「VENICE」で撮影したリオのカーニバル2019の映像などを上映した。

■8K/4K & HDR、プレミアムオーディオ
新製品では、グローバルシャッター搭載の4Kフラッグシップカメラ「HDC-5500」、FS7で快適なドキュメンタリー撮影を実現する新

オプション「CBK-FS7BK/LA-EB1」、全白1000nitsの高輝度を実現する新オプション「BVM-HX310」、大幅な小型化を実現した新マイクロフォンシリーズ「UWP-Dシリーズ」、4K HDR/HD SDRのサイマル制作を実現した「SR Live for HDR」。従来品では、4K HDR/HD SDRのサイマル制作を実現した「SR Live for HDR」、待望のハイフレームレート・リモコンに対応したCineAltaカメラ「VENICE」、微細LEDによる圧倒的高画質440インチ8Kディスプレイ「Crystal LED Display System」などを紹介。

■IP Live プロダクションシステム

ソニーのIPシステムは豊富な対応機器と多数の実績でトータルソリューションを実現。NMIとSMPTE ST2110に両対応し、ユーザーごとに最適なワークフローを提供する。

また、柔軟な機器設定が可能になり、リソースの集約を実現する。SDI⇔ST.2110の相互変換を実現するコンバーターボード「NLXK-IP50Y/IP51Y」、IP対応によりシンプルな配線を実現する3U Half CCU「HDCU-5500/3500」、システムの一括設定を可能にした統合管理ソリューション「Live Element Orchestrator」などの新製品を発表した。

■ファイルベースソリューション

カムコーダー・編集機と連携するクラウドENGサービス「XDCAM Air」、映像・音声・文書をまとめて管理するコンテンツ管理システムMedia Backbone「Navigator X」、堅牢性とランダムアクセスで安全・便利なアーカイブ「Optical Disc Archive」を紹介。

■その他（新製品）

ソニーのAIテクノロジーで進化する映像体験「REA-C1000」、1/2.5型CMOSセンサーを搭載した4K30P対応旋回型カメラ「BRC-X400」



4Kフラッグシップカメラ「HDC-5500」



CineAlta「VENICE」



マルチフォーマット4K & HFRプロダクションカメラシステム

「HDC-P50 POV CAMERA」（新製品）の紹介

パナソニック

放送・映像制作ソリューションからスタジオ向けスポーツ映像ソリューションを展示。放送・映像制作ソリューションからスタジオ向けスポーツ映像ソリューションまで、多彩な映像ソリューションを「スマートスタジオコーナー」と「PTZ ライブコーナー」、「ライブプレゼンテーションコーナー」、「ライブカメラコーナー」、「映画・番組制作向けコーナー」、「ハンズオンコーナー」、「P2 コーナー」の7つのコーナーにてソリューションを提案した。

■スマートスタジオコーナー

8K ROI + BlackTrax 社（位置情報検出システム）による出演者の自動追尾や、AW-UE150 W/K + Tecnopoint 社（ロボティクス）、Brain-storm 社（メディアサーバ）によ

る AR 演出、LPS（Live Production Suite：当社が提案するMoIP システム）によるIP 化スタジオ構築など、効率化と省人化を実現する次世代のスタジオサブシステムを展示。

■PTZ ライブコーナー

同社のリモートカメラのラインアップおよびNDI ソフトウェアアプリを活用した効率的なライブ配信システムを展示。

■ライブプレゼンテーションコーナー

自動追尾ソフトウェアを活用した被写体の自動追尾による、リモートカメラでの撮影収録・配信を実演。ディープラーニング機能搭載によりバージョンアップした自動追尾ソフトウェアを活用した被写体の自動追尾を紹介。

■ライブカメラコーナー



スタジオカメラのラインアップに加えて、他社連携による4K Wireless 伝送のデモンストレーションや、映画制作用カメラを使った「VARICAM LT Cine Live」、「EVA1 Live」など、場面に応じたライブ運用を想定した撮影ソリューションを紹介。

■映画・番組制作向けコーナー

ファームウェアのアップグレードにより性能がさらに向上した「VARICAM LT ver.8.0」や「EVA ver.3.0」などを展示。同社のシネマカメラで撮影した作品の紹介や、「Dual Native ISO」も紹介した。

■ハンズオンコーナー

「AU-EVA1」と「AG-CX350」を実際に手に取って、操作感や画質を確認することができる。

■P2 コーナー

新クラウド編集ソリューション、ストリーミング & ファイルベースHybrid ソリューションなどの新たなWork Style Innovation を提案した。



◀4K60P インテグレートドリモートカメラ「AW-UE150」

▲「AW-HE42 full HD PTZ」「AW-UE4 PTZ」

池上通信機

2/3 型ネイティブ4K センサ採用したコンパクト設計で様々な撮影用途に使える4K/HD マルチパーパスカメラ「UHL-43」を開発し、同展にてお披露目した。

「UHL-43」は、同社の放送用4K システムカメラのフラッグシップモデルであるUNICAM XE（UHK-435/UHK-430）と同じ2/3 型ネイティブ4K センサを搭載し、4K ならではの高品質な映像表現が可能な4K/HD マルチパーパスカメラ。ワンピースタイプのコンパクト設計のため、様々なアングルから被写体を捉えることができるパンチルトシステムその他、情報カメラなどの用途に最適な製品。今後、国内外の放送局をはじめとした各種放送市場に幅広く販売展開していく予定である。

「UHL-43」の主な特長

●ネイティブ4K センサを採用

2/3型ネイティブ 4Kセンサ(3840×2160)の採用により、4K の高精細映像に加え、F10 (4K/59.94p) の高感度、高S/Nを実現した。単板式センサやピクセルオフセット技術と異なり、ネイティブ 4K 3 板式のセンサを採用

することで、4K 超解像度と優れた色再現性を誇る。

●HDR に対応 (High Dynamic Range)

国際標準規格 (ITU-R BT.2100) に準拠した HLG (Hybrid Log Gamma) を搭載している。暗部から明部までの表現可能な範囲を拡大した高ダイナミックレンジ映像と豊かな色彩表現 (広色域) が可能である。

●4K/HD マルチフォーマット

ネイティブ4K 信号に加え、HD 信号による出力が可能。4K とHD (4K ダウンコンバート/4K カットアウト) 出力を切り替え、運用に応じて出力を選択することができる。

●12G-SDI 出力に標準対応

12G-SDI 出力を標準装備し、4K システムの構築をサポート。オプションで3G-SDI QUAD LINK に対応する。



「UHL-43」



「UHL-43」の主な仕様

撮像素子：2/3型 Native 4KCMOSセンサ3板式、8M pixel

感 度：F10 @ 4K 59.94P / HD 59.94i
F11 @ 4K 50P / HD 50i

S / N 比：62dB (HD運用時)

4K/HD-SDI 本線出力信号：

BNCx1

・12G-SDI: SMPTE2082

・3G-SDI: SMPTE424/425 Level A/B

・HD-SDI: SMPTE292M

BNCx4 (オプション)

・3G Quad Link (2 Sample Interleave) :
SMPTE424/425 Level A/B

・3G-SDI: SMPTE424/425 Level A/B

・HD-SDI: SMPTE292M

外形寸法：約W145 x H155 x D169mm

質 量：約2.6kg

朋 栄

「FOR-A World of Possibilities」(無限の可能性に向けて)をテーマを継続し、ブースを7つのエリアにて IP/12G-SDI 対応製品など最新機器を展示。主な出展製品は以下の通り。

1. ライブプロダクションエリア

スタジアム、アリーナ、ホールなど、ライブ会場内の大画面演出を想定したライブ制作ソリューションを出展。Odyssey 製ビデオサーバー、ClassX 製リアルタイム CG 製品を組み合わせたコストパフォーマンスに優れたライブ制作ソリューションを展示。

出展製品: 4K 対応ビデオスイッチャー「HVS-490」、4K 対応マルチビューワー「MV-4300」、マルチフォーマットルーティングスイッチャー「MFR-3000」、マルチチャンネルシグナルプロセッサ「FA-505」

2. スタジオプロダクションエリア

4K 制作に対応する朋栄のスイッチャーラインアップを一堂に展示。eSports 制作や、「HVS-2000」の持ち出しシステムなどについても紹介。

出展製品: 4K 対応コンパクトビデオスイッチャー「HVS-100」、4K 対応ビデオスイッチャー「HVS-490」、4K 対応ビデオスイッチャー「HVS-2000」、12G 対応ルーティングスイッチャー「MFR-1000」[新製品]、4K 対応マルチビューワー「MV-1220」[新製品]

3. IP/12G-SDI ソリューションエリア

スタジオサブや回線設備などにおいて、SDI、IP を活用しながら、システムチェンジやリソースシェアが可能な SDI/IP 統合制御ソフトウェアなど最新製品/ソリューションを展示。

出展製品: SDI/IP 統合管理ソフトウェア「SO



M-100」[新製品]、12G 対応ビデオスイッチャー「HVS-6000/6000M」[新製品]、12G 対応ビデオスイッチャー「HVS-1200」[新製品]、12G 対応デジタルスーパーキーヤー「DSK-4800」[新製品]、12G 対応マルチビューワー「MV-4320」、12G/IP 対応信号発生器「ESG-4200」[朋栄エレクトロニクス製、新製品]、12G 対応マルチパスシグナルプロセッサ「FA-9600」[新バージョン]、12G/IP 対応ビデオサーバー「MBP-1000VS」シリーズ、12G 対応アップ/ダウンコンバーター「USF-106UDC-12G」など: 各種 12G 対応モジュール製品、IP ゲートウェイ「USF-10IP」シリーズ、TICO コーデックモジュール「USF-106TICO-12G」



「FA-9600」

4. IP リモート制作ソリューションエリア

IP リモート制作に関連した製品を一堂に集めたエリア。米国にて販売代理店である富士通製品やメディアリンクス製品も展示する。

出展製品: LTO-8 対応 LTO サーバー「LTS-80」[新製品]、遅延時間調整装置「EDA-2000」[朋栄エレクトロニクス] [新製品]、タイムラグチェッカー「EDD-5400」[朋栄エレクトロニクス] [新製品]、H.265/HEVC 対応エンコーダー/デコーダー「IP-HE950」[富士通]、インスタントリプレイシステム「Envivo Replay」[Variant System Group 社]、メディア



サーバー「In-sight Server/Insight Mini」[Odyssey 社]、マルチメディア IP 伝送装置「MDP 3020」[メディアリンクス]、IP メディアゲートウェイ「MDP 3040」[メディアリンクス]

5. HDR ソリューションエリア

次世代映像制作に欠かせない機能となりつつある HDR (ハイダイナミックレンジ) にフォーカスし、HDR 対応シグナルプロセッサを紹介する。

出展製品: 12G 対応マルチパスシグナルプロセッサ「FA-9600」[新バージョン]、マルチチャンネルシグナルプロセッサ「FA-505」

6. フレームレート変換/解像度変換エリア

映像制作に欠かせないフレームレート変換、解像度変換に対応した製品を中心に紹介する。

出展製品: 12G 対応マルチフォーマットフレームレートコンバーター「FRC-9100」[新製品]、12G 対応フレームレートコンバーター「MCC-4K-A」[InSync 社] [新製品]、4K ダウンコンバーター「IF4K-DNC」[InSync 社] [新製品]、8K アップコンバーター「IF8K-UCN」[InSync 社] [新製品]、8K フレームシンクロナイザー「IF8K-FSCC」[InSync 社] [新製品]

7. カメラステージエリア

2/3" B4 マウントを搭載した 4K 高速度カメラをはじめ、各種ライブ中継に欠かせない製品を紹介する。

フル 4K 高速度カメラ FT-ONE-SS4K [新製品]
4K 切り出し装置「ZE-ONE」、リアルタイムフラッシュ軽減装置「RFC-ONE」、フリッカーコレクター「FC-ONE」、選手トラッキング装置「KTS-43」

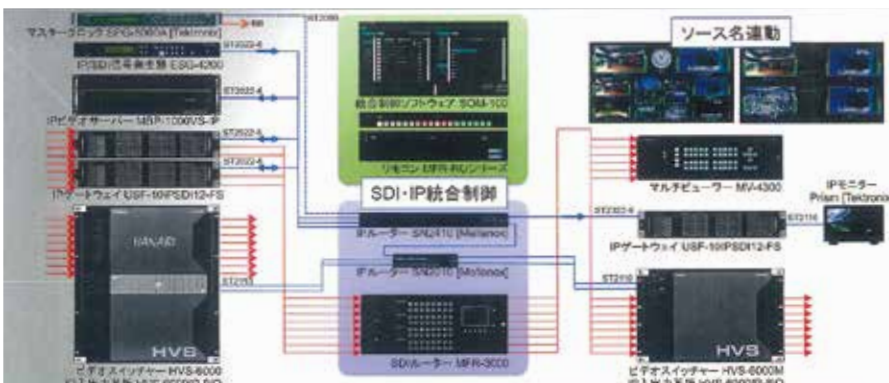


FT-ONE-SS4K

2/3 インチバヨネットマウントに対応したフル 4K 高速度カメラ。レンズコンバーターの装着が必要ないため、より明るい撮影、素早いフォーカスが可能。



HVS-6000



NAB ショーにおける展示システム

リーダー電子

高まる映像信号のIP化の需要と高画質化する映像信号に対応する新製品を展示。

IP化への対応は、昨年リリースした波形モニター LV5600/ ラスタライザー LV7600 の 4K-IP 対応オプション LV5600-SER06/ LV7600-SER06 を発表。

LV5600-SER06/LV7600-SER06は、4K 映像を非圧縮で伝送する SMPTE2110 に対応し、25Gb/sの伝送スピードを持つオプションで、SMPTE ST2022-6、ST2110-20 の映像、ST2110-30 のオーディオ、ST2110-40 の補助データ、ST2059 の PTP 同期に対応している。さらに 4K-IP 出力対応パターンジェネレーターオプション LV5600-SER32/ LV7600-SER32 を追加すると、カラーバー等の各種テストパターンを出力し IP ネットワークの評価が行える。出力フォーマットは SMPTE 2022-6、SMPTE2110 に対応している。

高画質化する映像信号への対応では、新製品 8K 対応波形モニター LV5900 を展示。7680(8192)×4320 の 8K 映像を 12G-SDI QUAD LINK で受信する SMPTE ST

2018-12 に対応している。8K でカラーバー等のテストパターンも発生することが可能で 8K 映像の送信、受信環境を LV5900 1 台で実現することができる。HD 映像を HD から 3G-SDI まで 4 入力同時表示を行う機能や 4K 映像へも対応しているため、8K 映像だけでなくさまざまなシーンで使用可能な波形モニター。オーディオインターフェースは、MADI に対応している。また、8K 対応オプション LT4610SER24 を搭載したシンクジェネレーター LT4610 を展示。12G-SDI オプション LT4610SER02 に LT4610SER24 を追加することで 12G-SDI 8K のパターンを出力できる。



新製品 8K対応波形モニター「LV5900」



4K対応 SDI&IP ハイブリッド
波形モニター「LV5600」



その他の新製品では、LV5600/LV7600 にカメラノイズメーターオプション LV5600-SER30/LV7600-SER30 を追加して展示。入力された SDI 信号の輝度信号、または RGB 信号に含まれるビデオノイズを測定するオプションである。

新製品以外では、IP と SDI の同時測定やリップシンク測定など波形モニター/ ラスタライザーの特長を前面に押し出したデモ、PTP オプションを搭載したシンクジェネレーター LT4610 やパートナー製品など、放送現場で力を発揮しうる製品を豊富に展示する。

モガミ電線

米国における同社製品の販売代理店である Marshall ブースにて出展。

製造元のモガミ電線のケーブルにおける優れた設計・製造技術とも相俟って、定評のある柔軟かつ機械的強度に優れたケーブルや、基礎・基本的な工学技術に於いて同業他社を凌駕する技術情報の蓄積を活かして、同業他社製品と差別化した付加価値の高い製品作りをめざしている。

そのため同社製品は日本国内のメジャーレ

コーディングスタジオはもとより、米国においてもシェアを確保し、既に著名なスタジオ、ハリウッド、放送局等でも大量に採用されている。

同社ではこのような高度な技術を活かし、本年の NAB においても、イーサネットケーブル、BNC コネクタ付き同軸ケーブル、110Ω AES/EBU デジタルオーディオ・マルチケーブル、吊りマイクケーブル、0.226mm² ステレオマイクケーブル、高解像度チューブ・マイクロ



フォン・ケーブルなどのオリジナル製品を紹介した。

mogami BNC-2964

もう回す必要はありません! BNCコネクタ付き同軸ケーブル

共に高品質な部品を提供し続けてきたモガミ電線と多治見無線電機の組み合わせで実現されたフィールドエンジニアの為の夢のケーブルです。50Ω/75Ωの両タイプ共あります。

ワンタッチロック“PUSH-PULL”方式採用! 密集したパネルや設置時間の短縮、頻繁な抜き差しに格段の効果を発揮します。



Click
カチッ

軽い! やわらかい! ワンタッチ!

モガミ電線株式会社

お問い合わせ

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131 E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: http://www.mogami-wire.co.jp

Solid State Logic

幅広い分野で活躍する SSL「System T」に最新のコンソールが登場。また先月発売となった超小型のアナログコンソール「SiX」も注目の的となった。

デジタルプロダクションコンソール System T は、次世代のオーディオ・プロダクション・システムであるが、同展で登場した「S500-M」は、パネルなどは、従来の S500 と同一であるものの、筐体の変更され、重量が20%以上軽くなったとのこと。これにより、中継車などへの導入の際に有利な点となる。System T シリーズに追加された最新のサーフェスとして「S500-M」は、ターンキーフライトケースソリューションを備えた32および48フェーダーバージョン、または最大96フェーダーを備えたより大きなカスタム仕様サーフェスとして指定できる。



System T「S500-M」

また、独自のモジュラー機能により、拡張メーターブリッジの有無にかかわらずコンソールを展開でき、これにより、完全な生産システムを専用のラックケースに入れて簡単に運搬することができ、コンソールスタンド、メーターブリッジの出荷用ストレージ、および Tempest Engines とネットワーク I/O 用の2つの8RUラックが提供されている。

一方、超小型アナログミキサー「SiX」は業務用コンソール・メーカーの製品とは思えない低価格の小型のアナログ・ミキサー。入力は、「SuperAnalogue」マイク・プリアンプと2バンドEQ/ダイナミクスを備えた2chのモノ・チャンネルと、トリム/バランス調整に対応した2系統のステレオ入力に加え、2系統の外部ステレオ入力と1系統のオルタネート・ステレオ入力を装備。これらをフルに使用すれば、

最大12ch入力のサミング・ミキサーとして機能するようになっている。2chのモノ・チャンネルは、XLR端子とライン入力に対応したTRSフォーン端子を併装し、背面にはインサクション端子(D-Sub)も搭載。フェーダーは、100mm長のプロ品質のものが採用され、内部回路はヘッドフォン出力を除き、完全バランス仕様の「SuperAnalogue」回路となっていると



のこと。

注目なのが、マスター・バスにSSLサウンドの肝と言えるG-Seriesバス・コンプレッサーが備わっている点。コントロールはスレッシュホールドとメイクアップのみとシンプルであるが、アタック/リリース・タイムはさまざまなミックスに対応できる設定になっているとのこと、レシオは1:4に固定されている。

出力は、XLR端子のメイン出力のほか、TRSフォーン端子のモニター出力、オルタネート・モニター出力、DAWへの送りとして使用できるBus B出力を装備。モニター機能も充実しており、2系統のキュー/ステレオ・フォールドバック出力やトークバック入力などを備えている。

超小型アナログミキサー「SiX」▶



Nevion

バーチャルIPメディア制作ソリューション提唱しているNevion社は、実際のケーススタディと、顧客に提供した実際のソリューションに基づくデモンストレーションを通しそのテクノロジーとサービスのストーリーを展示ブースにてプレゼンを行った。

IPへの移行が加速するにつれて、Nevionは既存および潜在的な顧客が、自分たちが直面している問題にどのように対処するか、または求めている利益を得ることができるかに関心を持つようになった。その結果、NABでは、これを説明する最善の方法は、顧客に対して行った作業の実際の例を共有すること、つまりストーリーを語ることが重要であると説明した。

Nevionは、2006年に最初のIP貢献ソリューションを提供し、2015年以来、施設にIPを提供するパイオニアとして活動してきた。これまで長い間、標準を定義し、変革的なメディアネットワークを成功させNABでは、Nevionが施設のインフラストラクチャでの

ブロードキャストIP、ブロードキャスト、コンテンツリビューション、リモートプロダクション(REMI)、地デジ、映画のポストプロダクション、政府系プロジェクトなど、いくつかのソリューションを説明するケーススタディを説明していた。

ブース訪問者は、複数あるデモボットのいずれでも同様のデモと説明を受けられるように配置されていた。そこでNevionの主力製品であるVirtuoso(バーチュオース)とVideolPath(ビデオアイパス)をメインに実際インストレーション例をもとに説明を受けられるようになっていた。

新製品では、すでに出荷されている放送事業者マーケット仕様のVirtuoso FAメディアサーバーと新たに出荷が開始されたキャリアクラスVirtuoso MIを展示していた。処理密度とハードウェアの冗長性が特に重要となる、Tier 1/2(1次/2次請負)マネージドビデオサービスなどのキャリアアプリケーション向けに



設計されているとのことであった。

VideolPathは、すでに世界でも有数の大手メディアネットワークで広く利用されておりNAB 2019で、Nevionは、強化されたスイッチベンダーサポート、NMOS、サードパーティ製機器サポート、モニタリングなど、VideoIPathに追加された新機能をデモしていた。

さらに、NevionのチーフテクノロジストであるAndy Rayner氏が、IPショーケース(Central Hall、ブース番号C12634)においてIPベースのプロダクションがワークフローに革命をもたらしたことを示すケーススタディやIPスタジオ環境でのオーディオ処理およびWAN経由でのSMPTE ST 2110の転送に関して講演していた。

オタリテック取扱い各社

LAWO

オーディオコンソール/映像関連製品/IP 関連製品:世界中のブロードキャストの現場で使われる LAWO の製品は日本国内でも数多く導入されている。オーディオ・コンソールはもちろん、映像、コントロール、IP 関連機器と多岐にわたる。本展では LAWO 社の提案するリモート・プロダクションの世界を紹介。また、先日発表された最大144のフェーダーをサーフェイス内に搭載可能なmc²56のデュアルフェーダー・ヴァージョン、WAN 対応の新たなAoIP ステージボックス・シリーズ「A stage」の展示を行った。



LAWO mc²56

Riedel Communications

インカム/IP 関連製品/光伝送関連:ワイヤレス・インカム「Bolero」よりベルトバックとアンテナのみで運用が可能なスタンド・アローン・ヴァージョンを展示予定。また、SMPTE ST-2110 に対応したリアルタイム・ネットワークMediorNet シリーズの「Micron IP」,さらに新しいデジタルマトリクスインターカムシステム Artist1024 を発表。



Riedel Artist1024

Point Source Audio

ミニチュア・マイクロフォン:米国のミニチュア/ラベリア・マイクロフォン・メーカー Point Source Audio 社。
360 度曲がるブーム、水や汗やメイクに対す

る IP57 の防水防塵保護、簡単に付け替えてくれるねじ式のコネクタなどを特徴としている。NAB2019 では2つのエレメントを搭載した新型ラベリア・マイクを展示。

Phonak

ワイヤレス送り返しシステム:イヤープース型・ワイヤレス・送り返しシステム世界的な補聴器メーカーPhonak 社のイヤープース型のデジタル・ワイヤレス・コミュニケーション・システム「Roger」を展示。
ライセンスフリーの 2.4 GHz 帯を利用した送り返しシステムの「Roger」はストレスフリーで小型のイヤープース型受信機、低ノイズで高いサウンド・クオリティ、簡単な設定を特徴とし、様々なアプリケーションで演出の邪魔にならずに最適なスタジオ・コミュニケーションを提供する。



LAWO 社ブース



RIEDEL 社ブース

AVT (Audio Video Technology)

テレフォン・ハイブリッド:ドイツの AVT 社はテレフォン・ハイブリッド MAGIC TH シリーズを展示。



Point Source CM-i3

コンサート、FOH、マルチメディア・プロダクション、双方向コミュニケーションが必要なコンサート会場などのプロフェッショナルな現場へ向けて開発されたインターカム・ヘッドセット。特許取得済みのスリムなデザインにより、ヘッドセット全体を外して環境音を確認するなどせず、シンプルにイヤフォンを外すことでリスニング・モードを切り替え、周りの環境音やオーディオ・ミックスをモニターできる。モジュラー方式の『CM-i3』インターカム・ヘッドセットはPSA 社のプロフェッショナル向け『EM-3』インイヤフォンを用いて設計されている。必要に応じてユーザーの方々はこのイヤフォンを個人的な音質嗜好に合うインイヤフォンに交換してカスタマイズすることもできる。このモジュラー方式の構造は製品の保守性と寿命を大幅に伸ばすことにも貢献する。



neviON Media Gateway to IP

ビデオプロダクション、ビデオ長距離中継伝送、放送スタジオの IP 化ゲートウェイ各種インターフェースを取り揃えております。



Virtuoso シリーズ

3GHD-SDI 非圧縮、JPEG2000、TICO、ASI、H.264/AVC Media Gateway, IP Aggregation, Monitor...



Flashlink IP シリーズ

非圧縮マルチプレックス SDI
AES 67 IP オーディオ



非圧縮 16 HD-SDI I/O、SMPTE2022-6 IP コーデック + eMerge 10GBE スイッチ・40 GBE データ・アグリゲーション、SMPTE2022-7 SIPS リダンダントバス構成

製造元:
Nevion AS

輸入販売元:
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社 ●TEL:03-5542-3260 ●http://www.network-electronics.co.jp

タックシステム取扱い各社



Decimator Design

高機能な SDI コンバータを提供するDecimator Design (デシメータ・デザイン)社は、遂に4K対応版のコンバータとして「12G-CROSS」を発表した。「12G-CROSS」は、4G/3G/SD-SDI およびHDMI 2.0入力をフレームレート変換およびスケーリング変換できるアップ/ダウン・コンバータで、従来の当社製品同様、あらゆるフォーマット、フレームレートに対応している。日本での発売は、秋以降で価格¥78,000(税抜き)予定となっている。今後同社からは、12G-SDI 関連のマルチビューワなどの新商品が期待される。



Directout Technologies

信頼性の高いMADI 関連ユニットを提供している「Directout Technologies」(ダイレクトアウト・テクノロジーズ)社からは、従来のANDIAMO2.XT シリーズのMADI I/O ユニットに変わる新製品としてMADI IO、AES、アナログ入出力、マイクプリおよびネットワークカード (Dante/Lavenna/SoundGrid) を自由にシステムに合わせてチョイスが可能な「PRODIGY.MC」および、DSP カードを搭載したモデル「PRODIGY.MP」を展示した。「PRODIGY.MP」のDSP 機能は、音場測定でよく知られているSmart ソフトウェアとの連携が可能で、容易な音場補正を行うことが可能となっており、IO ユニットというよりもオーディオ・プロセッサ・ユニットとして使用できるハイ・コストパフォーマンスな製品となっている。「PRODIGY.MC」の発売は6月、「PRODIGY.MP」の発売は秋以降の予定となっている。

ADDER

現在最も先進的と言われている英国のKVM メーカー「ADDER」(アダー)社は、4K60Pの解像度に対応した新しい「Infinity シリーズ」のモデル「ALIF-4000」シリーズを発表した。IP 伝送を用いたKVM システムとしては、驚異的なレスポンスと高解像度の両方を実現したこのモデルは、



これからの4K/8K 映像作品製作、CG、放送設備などに確実に対応できるパフォーマンスと、接続台数無制限のシステム拡張性、高セキュリティを持った最高水準のモデルといえる。この「ALIF-4000」シリーズは、10G ファイバー接続1本で2系統の4K映像を送ることのできるパフォーマンスを持っている。なお、従来のInfinity システムとの互換性を持ち、既存のシステムにも必要な部分のみ4Kの端末を組み入れることも可能となっている。発売は、7月を予定しており予定価格は1端末あたり¥320,000(税抜き)を予定している。



NTP Technology

「DAD(Digital Audio Denmark)」のブランドとして知られる「NTP Technology」(エヌ・ティー・ピー・テクノロジー)社は、高音質及び豊富なルーティング機能を持つ「AX-32」および「Penta」シリーズの新しいインターフェイスカードとして、サンプリング・レート・コンバータを内蔵したネットワーク・オーディオカード (Dante) を展示。また、参考出品として、同シリーズのルーティングやゲインコントロールの可能なラックマウントタイプのリモートパネルを発表しました。このリモートパネルは、NTP Technology のプロトコルのみならず、Black Magic Design 社やAJA 社などのプロトコルにも対応しているため、ビデオ/オーディオを連動したルーティング制御が可能となります。発売は、秋頃を予定している。

JL Cooper Electronics

米国「JL Cooper Electronics」(ジェー・エル・クーパー・エレクトロニクス)社は、20年以上もの長年販売し続けてきたRS-422 VTR リモートコントローラ「ES-450」およびスローモーション・コントローラ「ES-Slomo」をリニューアル。「Transport Pro 422」、「Slomo Pro」を新製品として販売を開始することを発表いたしました。従来

の機能、使用感はそのまま、ノンリニアへと変貌した市場に合わせた製品として生まれ変わった。

Eventide

デジタル・オーディオ・エフェクトの老舗と言える米国「Eventide」(イーブンタイド)社は、新しいコンセプトのハードウェア・エフェクト・ユニット「H9000」の展示、デモを行いました。「H9000」は、従来の「H3000」などのシリーズで培ったすべてのアルゴリズムを網羅した上で、22.2CH マルチチャンネル・サラウンドに対応したリミッターを近日リリースするなどMADI 及びネットワークオーディオ (Dante) オプションによる入出力によって、多くのマルチチャンネルに対応できる新しいタイプのオーディオ・プロセッサとなっています。本体価格 ¥900,000 (税抜)とマルチチャンネル・エフェクターとしては、リーズナブルな価格でリリースされている。

iZotope

オーディオ・レストレーションのデファクトスタンダードとなった「RX」シリーズを生み出した米国「iZotope」(アイゾトープ)社は、NAB2019にてLexicon のリバーブ・アルゴリズムを継承したリバーブ・ソフトウェア・ディベロッパー「Exponential Audio」(エクスポネンシャル・オーディオ)社を合併し、その製品ラインナップをiZotope に加えることを発表した。ブースでは、アルゴリズム開発者の Michael Carnes 氏自身がデジタルリバーブの歴史とともに自身が開発したリバーブの機能について解説をし、多くの注目を集めた。

YELLOWTEC

スタイリッシュなモニターアーム、ラジオ製作にフィットしたマイクスタンドとして知られる独国「YELLOWTEC」(イエローテック)社は、スタンド関係のほかにも多機能でコンパクトなデジタルミキサー「Intellimix」および、画期的なリアルタイムにレベル・ノーマライズを実現する「LEA エンジン」を搭載したマイクプリアンプ「PUC」および同機能を内包したレポーター用のレコーダー付きマイクロフォン「iXm」シリーズのデモを行い、多くの来場者の興味を引いていた。

SYNCHROARTS

秀逸なボイス、ボーカル編集ソフトとして知られる「Vocalign」シリーズ、「Revoice PRO」を提供する「SYNCHROARTS」(シンクロアーツ)社は、この度ブロードキャスト市場で多くのプロジェクトに貢献したことをたたえられ、「EMMY TECH AWARD」を受賞。音楽だけでなく、ポストプロダクションの現場でも非常に有効に使われてきたことを表している。

パンフレット・カタログ・冊子・ポスター・名刺・封筒・ノベルティ

企 画

デザイン

制 作

印 刷

配 布

展示会・内覧会用の小中ロット印刷ならお任せ下さい。



PDF入稿
大歓迎!!

プリンターやコピーよりも
早い・安い・きれいをモットーに
短納期と低印刷コストをお約束



当社のプリンティングサービスは
名刺から大判ポスターまで、社内一環生産をしておりますので
公表前の情報が外部へ漏れることなく安心です



月刊FDI発行元
株式会社 ユニワールド

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-34-9

TEL. 03(5376)7233 FAX.03(5376)7246

URL. <http://www.uni-w.com>